

3世代コミュニケーション座談会

娘サイドは 甘え半分、親孝行半分 母からの円満サポートの秘訣は“週1回”

自立心旺盛な60代の母たちに対して、近所に住む子育て30代娘たちの言い分やいかに？
引き続き話題は「3世代コミュニケーション」「母娘の情報交換」です。

貴重な母の子育てサポートは「週1回」がギリギリライン

HOW 皆さん働いてらっしゃいますが、実家からの子育てサポートはありますか？
松本 仕事の時は、母に守りに来てもらっています。「週1くらいならいいかな」と言ってくれているので、子どもの面倒を見てほしかったので、実家と近すぎず遠すぎずの距離を選びました。

小野 私もし仕事の時は家に見に来てもらって、週1回、3〜4時間くらい。親も長時間は厳しけどたまになら嬉しいみたいで、預けるのも親孝行と思っています。

岩崎 うちも保育園に連れ入れたのですが、月に2、3回はやっぱり子どものお迎えを頼んでいます。

HOW 子守りを断られることは？

岩崎 緊急時に頼むことが多いのですが、断られることはほぼないです。母は習い事とかで外出も多く、急遽予定を変更してもらって感じ



岩崎 真寿世さん (35歳/子ども5歳・2歳)
フルタイム勤務。5歳の男の子と2歳の女の子がいる。65歳の母が歩いて15分のところに住んでおり、兄と姉も同居している。夫の実家は静岡で両親は他界している

ので頭が下がらないう姿勢で、逆にそういう姿勢でないと円満にやっていけないと思います。
松本 断られる時も時々だけあります。母の用事が先に入っていた時とか。そういう時は、私の日程を調整しますね。週に2日以上頼むことはほとんどないです。母に長く頼み続けるためには週1くらいに限界とか。



松本 阿貴さん (32歳/子ども6歳・2歳)
週1回、幼児向けの英会話教室に勤務。58歳の母は車で40分くらいのところに住んでおり、父は仕事で海外にいる。夫の実家は福島で両親ともに健在

頼む時も結構下手に出ます(笑)。
小野 私も母はパートで働いているし、自分で病院に行ったりもするから、1日中は頼めないですね。

母とのメールはほぼ毎日 ご馳走目的の外食も親孝行？

HOW 皆さん、うまくお母さんとの距離感をはかりつつサポートを得ているようですね。ご実家は比較的お近くですが、行き来やお母さんと連絡を取り合う頻度は？

小野 実家に帰るのは2カ月に1回くらい。電話は3日に1回くらい、メールは毎日。買い物頼まれたり、孫の写真を送ってあげたりします。週に2、3回、子どもと一緒にお昼を食べたりもします。

岩崎 実家は兄弟もいるのであまり行かないけど、週1回くらいは母、兄弟、私の家族皆で集まって夜一緒に外食します。母とは3日に1回くらいはメールしています。
松本 実家には1カ月に1回くらいは行って

食材をあさります(笑)。母とのメールはほぼ毎日かな。1カ月に1回くらい、ちょっといいお店があったら母を誘って食べさせてもらったりもします。母もおいしいお店とか知っていたら、けっこう嬉しいみたい。

3世代旅行の役割分担は「車2台自分、お金2母親」

HOW 皆さん仲良く母娘ですね！ お子さんが生まれる前は母娘2人旅行なんかも？
全員 行ってました！ 子どもが大きくなったらまた行きたいです。

HOW 3世代で行く旅行やレジャーについてはどうですか？

松本 年に3回くらい温泉泊旅行などに行きます。母が言い出すことが多いですね。運転は自分たちがするけどお金は両親もち。

小野 うちも日帰り旅行で、紅葉、桜見物などと一緒にいきます。誘う時は母からです。高速、ガソリン代はうちで、食事・レジャー代は母親もち。本当は車代も出してくれるって言うんですけどさすがに甘え過ぎかな。

岩崎 2カ月に1回くらいは私の祖父の家に、母も子どもと一緒に来ています。旅行



にもけっこう行っていきますね。2回くらい沖縄にも行って行きました。費用はどちらが出すって言うてもやっぱり出してくれます。

HOW 節約、クリスマス、お正月など行事ごとの実家からの経済援助は？

松本 実家からは、子どもの誕生日とクリスマスにプレゼントを買ってもらいます。夫の両親は滅多に会えないので、七五三とか節約の時に10万円とか大きいお金をくれます。

小野 母からもちょうどは子どもの誕生日、クリスマス、入園式、七五三の時とか。大体お金をもらって、「好きなもの買って」と言われます。夫の両親には仕送りしているくらいなので何ももらいません。

岩崎 うちも子どもの誕生日とクリスマスには実家からプレゼントをもらいます。七五三、入園式、出産の時とかはお金を。七五三の時は確か5万円でした。

HOW お母さんからの行事ごとのお祝いは物よりお金ということが多いようですね。

娘から母への情報提供は流行のコスメや食品など

HOW ここからは母娘の情報コミュニケーションについて伺います。何かを買おう・利用しようとするときなど、お母さんに相談することはありますか？

岩崎 自分の小さい時のことを聞いて子育ての参考にしたりはするけど、反面教師的な部分もあるしそこまで聞かないですね。
松本 あまり相談することはないけど、逆に母からはバッグとか服とかファッション関係で流行っているものなどをよく聞かれます。

「同じのが欲しいから買って」とか。
HOW なるほど。お母さんから聞かれるこ



小野 真由美さん (39歳/子ども2歳)
週1回くらい自分の好きな時に、元いたソフトウェア会社に勤務。母65歳、父70歳で両親は車で40分くらいのところに夫婦2人暮らし。夫の実家は青森で70歳の義母がいる

とはほかにどんなことがありますか？

松本 ネット関係はやっぱりわからないみたいで、生協のネット注文のやり方とか、代わりチケット取ってくれとか言われますね。
岩崎 「食事会するけどいいお店ない？」とか相談されて、代わりに下見して予約してあげたりします。家電製品のことなどもよく聞かれます。

HOW 自分が薦めてお母さんが買うようになったものありますか？

岩崎 ロクシタンのハンドクリームとか。
小野 コラーゲンサプリメントとか、ウイソンのバッグとか。ポン酢ジュレやチンする煮魚なんかも薦めました。

HOW お母さんから「これ買ったから、ついでにあげるわ」なんてのは？

全員 それはしょっちゅうあります！
小野 私が発芽玄米好きなのでもらったり、デザートでこんぶ、干しいたけ、うどんのり、ジャムとか買って来てくれます。
HOW 食品関係が多そうですね。たまには

HOW's View
「いいとこどり」や「親孝行」の意味を多彩に広げて
団塊世代の母たちは元気だ。趣味の仲間も多くリアルコミュニティでの情報交流は娘世代より盛んかもしれない。一方でメディア接触が多くSNSなども使いこなす娘世代は、流行や先進的な情報に早い。娘から、母世代が理解して納得できる情報提供があれば、母世代に一気に広まる可能性も高い。
母娘互いに、おすそ分けやシェアするシーンも頻繁。既に母娘たど得に異なるプランなどが多々あるが、座談会で出た「いいとこどり」や「親孝行」の意味を多彩に広げてほしい。